

慢性疼痛診療における  
潤滑油としての心理士(師)の役割と課題  
コンサルテーションを考える

参加費  
無料

令和4年1月29日(土) 13:50~16:30  
オンライン開催

心理士(師)がチーム医療において患者に関わりつつ同時にチーム全体の状況を俯瞰し、それをチームに還元し必要に応じて援助を行うことは重要な役割と考えます。本セミナーでは心理士(師)がコンサルテーションを学ぶ機会であると同時に、医師をはじめとした他職種の方々に心理療法だけではない心理士(師)の役割を知っていただく機会になればと思います。

プログラム

はじめに 13:50 開催趣旨について

症例報告 14:00-14:30 (14:20~質疑応答)  
慢性疼痛治療におけるコンサルテーションの一例

講演 14:30-16:30  
「心理療法だけじゃない！」  
潤滑油としての心理士(師)の役割と課題  
コンサルテーションを考える」

心理士(師)の立場から 14:30~ (15:15~質疑応答)  
講師 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 安達友紀先生  
座長 堺市立総合医療センター 心療内科 島津真理子先生  
医師の立場から 15:30~ (16:15~質疑応答)  
講師 関西医科大学 心療内科学講座 山根 朗先生  
座長 滋賀医科大学病院 ペインクリニック科 福井 聖先生

司会 関西医科大学 心療内科学講座 加藤文恵

慢性疼痛に関わる  
または興味のある  
医療従事者はどなたでも  
ご参加いただけます

申込み  
方法

記載のURLまたはQRコード受付フォームからご入力ください。  
<https://forms.gle/m2bFrhmqyEnqTR8u6>

